

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進		作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31		
担当部署	030300	総務部 資産管理課		責任者	成嶋 正俊	担当者	公共施設マネジメント担当		
取組年度	H28	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	<p>公共施設等の老朽化対策の推進により、「財政負担の軽減・平準化」及び「公共施設の最適な配置」を実現するため、公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。成果指標については、「基本方針編」の数値目標※を踏まえ、公共施設の総量とする。なお、市の総人口は今後10年程度増加傾向が続くものと見通されており、「基本方針編」では、財政負担の抑制を図りつつ、必要に応じて施設の再整備や新規整備等も行いながら、行政サービス機能の確保に努めることとしている。このため、計画値については、平成26年度末時点の数値を目安として設定する。</p> <p>※計画における数値目標：建築別系施設の施設総量（延床面積）の縮減について、将来推計人口を踏まえて段階的な取組を進め、今後40年間で13%縮減することとしている。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」を策定した。							
平成29年度	計画どおり	個別施設計画の全体計画（骨格部分）を担う個別施設再編方針の素案を作成。							
平成30年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
平成31年度	実施	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
平成32年度	完了	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。							
成果指標	指標名	前年度末における公共施設の総量（基準年度の数値を目安に総量抑制を図る）					単位	㎡	
	年度	平成27年度 当初予算（基準）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	788,067	
	変更計画値	788,067						0	
効果額	実績値		786,111	787,003	789,197			0	
	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
実績額							0		
歳出削減	当初計画額						0		
	変更計画額						0		
	実績額						0		
計	当初計画額		0	0	0	0	0		
	変更計画額	0	0	0	0	0	0		
	実績額		0	0	0	0	0		
見込まれる その他効果 (金額以外)		公共施設等の 安全性確保と 市民ニーズに 合わせた行政 サービスの提 供	同左	同左	同左	同左			

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A	
番号・取組事業名	81001	公共施設等総合管理計画の推進	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31	
担当部署	030300	総務部 資産管理課	責任者	成嶋 正俊	担当者	公共施設マネジメント担当	
	区分	取組内容・目標					
平成30年度	計画どおり	柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組みを進める。					
取組項目		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	公共施設マネジメント推進会議の運営	○	○	○	○		
2	モデル事業の検討・推進	○	○	○	○		
3	個別施設再編方針の作成	○	○	○	○		
4	行政改革推進委員会の意見聴取	○	○	○	○		
5	市民向け説明会等			○			
6	施設情報の更新			○			
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 個別施設再編方針について、公共施設マネジメント推進会議(課長会2回, 保全部会2回), 行政改革推進委員会からの意見聴取, 市民向け説明会(10月6日, 14日)等の取組を実施し, 年度末の策定に向け計画どおりに事務を進めている。 施設情報の更新に向け, 公共建築物保全情報システムにより収集した各施設単位の情報について, 整理, 確認作業を進めている。 			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	前年度末における公共施設の総量(基準年度の数値を目安に総量抑制を図る)		計画値	単位 m ² 788,067	実績値	単位 m ² 789,197
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	本年度の実績値について, 1年度という短期的な視点では達成できていないことになるが, 一方で公共施設等総合管理計画「基本方針編」に基づく取組は, 長期的な視点で推進する必要があるため, 同計画においては今後40年間で施設総量の13%を縮減するという目標を設定している。そのため, 今年度は, この目標達成に向け, 今後40年間における個々の施設ごとの再編の方向性を定めた「個別施設再編方針」を策定することを取組として位置づけており, この点においては計画どおり策定することができたため, 達成状況を一部達成とした。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	何れにしても「公共施設総合管理計画」を推し進めるにあたっては, これからがより重要かつ困難になると思えるので, さらなる取り組みの強化に努められたい。			
	方向性	取組み強化					

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A	
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業			作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室			責任者	成嶋 正俊	担当者	営繕担当建築保全担当
取組年度	H28	～	H32					
効果	その他改善							
最終目標	公共建築物を安全で快適に利用できる状態を維持するとともに、将来的な保全工事費の把握と施設の長寿命化を図る等財政負担の平準化を目的として、建築物の用途・規模等から予防保全とすべき対象施設と部位を選定し、「中長期保全計画」を策定した上で計画的に保全工事を実施していく。あわせて「中長期保全計画」は、今後「公共施設等総合管理計画」の建築物の計画策定に反映していくもの。							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	「中長期保全計画」の策定、予防保全工事を実施した。						
平成29年度	計画どおり	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事を実施した。						
平成30年度	計画どおり	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事を実施						
平成31年度	実施	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
平成32年度	完了	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事の実施						
成果指標	指標名	予防保全工事の実施件数					単位	件
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値	7	13	23	19			0
	変更計画値							0
実績値	12		22	18			0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	計画的な予防 保全工事の実 施により、突発 的な施設の使 用障害や事故 を避ける	計画的な予防 保全工事の実 施により、突発 的な施設の使 用障害や事故 を避ける	計画的な予防 保全工事の実 施により、突発 的な施設の使 用障害や事故 を避ける	計画的な予防 保全工事の実 施により、突発 的な施設の使 用障害や事故 を避ける			

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A			
番号・取組事業名	81002	市有建築物保全事業	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	030800	総務部 資産管理課 営繕管理室	責任者	成嶋 正俊	担当者	営繕担当建築保全担当			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	「中長期保全計画」に沿った計画的予防保全工事を実施							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	中長期保全計画及び保全方針等について関係部署との協議			○	○				
2	施設所管課及び財政等関係部署との調整, 次年度工事選定				○	○			
3	施設所管課へ日常・定期点検実施依頼及び結果取りまとめ			○			○		
4	市有建築物現地調査及び建物情報システム入力				○	○			
5	中長期保全計画の見直し改訂版作成						○		
6	予防保全工事の設計			○	○	○	○		
7	予防保全工事の実施			○	○	○	○		
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> 各取組項目とも概ね計画どおりに進んでいる。 項目1, 2については, 企画財政部門及び施設所管課と協議し短期保全計画(案)を策定した。 保全工事を効果的計画的に推進するためには, 関係部署との合意形成が重要になるため, 引き続き仕組みづくりに努めていく。 現地調査のうち劣化度調査については, 費用対効果を検討し, よりよい実施方法を検討する。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	予防保全工事の実施件数		計画値	単位	件	実績値	単位	件
					19		18		
	達成状況【成果】	一部達成		コメント	予定していた工事のうち, 施設所管課で財源確保の観点から次年度に先送りすることになった1件を除き, 計画通り実施することができた。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無		コメント					
	計画値	無							
評価	評価者	鬼沢 徹雄		※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	中長期保全計画及びシステムを有効に活用して, 積み残し分も含めて, 計画的に進められたい。				
	方向性	取組み強化							

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A		
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画		作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31		
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課		責任者	高橋 直資	担当者	山本 常正		
取組年度	H28	～	H32						
効果	その他改善		歳出削減						
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アミュゼ柏クリスタルホール、プラザの舞台照明、音響設備の改修 ・市民文化会館の空調設備改修工事、舞台床修繕 ・上記修繕工事を適切に履行するため、次期指定管理者への募集に対し、工事対応のための休館など一定程度の運営条件を策定する。（次期指定管理者選定時に、契約期間中の施設休館に対する歳入の減少並びに（人件費）支出抑制への対応策の提案を募集する。） 								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	次期指定管理者募集の方針を定め、老朽化等を踏まえた修繕計画を作成した。							
平成29年度	計画どおり	次期指定管理者を選定した。また、次年度の修繕に関する設計委託（アミュゼ柏）、工事予算要求を行った。							
平成30年度	計画どおり	工事							
平成31年度	実施	工事							
平成32年度	完了	文化施設利用者に対し、予防保全的改修により安定的なサービスの提供を図る							
成果指標	指標名	設計・工事進捗率					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値		0	33	66	99	100	100	
	変更計画値	0		16	66	99	100	100	
実績値			0	16	66			0	
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)			・指定管理者募集の市側意思決定	・指定管理者事業提案(募集条件)への反映	・指定管理料の調整(人件費) ・休館期間の短縮	・指定管理料の調整(人件費) ・休館期間の短縮	後期:アミュゼ空調改修計画等への反映	

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A	
番号・取組事業名	81003	アミュゼ柏及び市民文化会館の設備修繕計画	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31	
担当部署	160400	地域づくり推進部 地域支援課	責任者	高橋 直資	担当者	山本 常正	
	区分	取組内容・目標					
平成30年度	計画どおり	工事					
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1	市民文化会館空調機改修工事				○	○	○
2	市民文化会館大ホール舞台床修繕				○	○	○
3	市民文化会館大ホール3階トイレ改修工事				○	○	○
4	アミュゼ柏改修工事設計委託			○	○	○	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	今年度に実施予定の市民文化会館空調改修工事等は計画どおり進んでいる。来年度に実施予定のアミュゼ柏改修工事の設計委託も取り組んでおり、指定管理者と休館時期について調整を進めている。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	設計・工事進捗率	計画値	単位 66	%	実績値	単位 66
	達成状況【成果】	達成	コメント	計画どおり、市民文化会館の空調、大ホール舞台床、3階トイレ修繕を行った。修繕に伴い大ホール及び小ホールを休館したが、利用者に事前周知を行ったため、混乱なく工事を終えた。アミュゼ柏の改修設計も行い、次年度の工事に向けて準備を進めている。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント			
計画値		無					
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	休館等のお知らせなど、利用者、利用団体への事前の周知を徹底するなどして、混乱が生じないように進められたい。			
	方向性	継続実施					

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	B		
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新		作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31		
担当部署	210400	水道部 配水課		責任者	長妻 克典	担当者	工務担当		
取組年度	H28	～	H32						
効果	歳出削減		その他改善						
最終目標	<p>人口急増期に多数布設した管路が、今後急激に更新時期を向かえることから、法定耐用年数(40年)による更新ではなく、より実態に近い更新基準年数の70年とし年間整備量の平準化を図る。また、管路更新を効率的に実施していくために、施設の重要度を考慮した基幹管路や重要施設管路を対象をシフトする。</p> <p>その結果、計画的な更新と長寿命化によってライフサイクルコストが削減され、管路耐震化率100%を目標とする継続的な事業が可能となる。</p>								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	老朽管14.0km 重要施設管路2.3km 基幹管路0.7kmを更新した。 管路耐震化率 25.6%							
平成29年度	進んでいる	老朽管13.1km 重要施設管路4.9km 基幹管路0.7kmを更新した。 管路耐震化率 27.5%							
平成30年度	進んでいる	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 26.5%							
平成31年度	実施	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 27.8%							
平成32年度	完了	老朽管11.2km 重要施設管路3.4km 基幹管路2.9kmを更新する。 目標管路耐震化率 29.2% アクションプランとしては終了するが当該事業は、H87年度まで継続する。							
成果指標	指標名	管路耐震化率					単位	%	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	22.4	23.8	25.1	26.5	27.8	29.2	29.2	
	変更計画値							0.0	
実績値	25.6		27.5	29.4			0.0		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	計	当初計画額	0	0	0	0	0	0	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	0	0	0	0	0	0	
	見込まれる その他効果 (金額以外)			優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	優先度に応じた計画的な老朽管の更新を行い、結果、効率的に管路の耐震化が進む	

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	B	
番号・取組事業名	81005	老朽管の更新	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31	
担当部署	210400	水道部 配水課	責任者	長妻 克典	担当者	工務担当	
	区分	取組内容・目標					
平成30年度	進んでいる	老朽管11.2km 重要施設管路2.7km 基幹管路3.5kmを更新する。 目標管路耐震化率 26.5%					
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	設計・積算・発注・施工監理			○	○	○	○
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
	上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	上半期分に関し、順次、設計・積算を行い、配水管改良工事17件を発注、現在施工中で順調に進捗している。 下半期分についても6件を発注する。		
進捗・実績							
	年度末	成果指標名	管路耐震化率	計画値	単位 % 26.5	実績値	単位 % 29.4
		達成状況【成果】	達成	コメント	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づく計画値に準じ、順調に進捗している。また、発注時期の平準化にも取り組み下期分7件を発注し効率的に事業を進めている。		
		進捗状況【活動】	進んでいる				
		計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント		
	計画値		無				
評価	評価者	吉川 正昭	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	「柏市水道事業ビジョン」・「柏市水道施設更新計画」に基づき、引き続き事業を進め、建設コストにも注視しながら、発注時期の平準化にも注力していくこと。			
	方向性	継続実施					

H30

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理					重要度	A		
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画			作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31	
担当部署	270400	学校教育部 学校施設課			責任者	山口 秀明	担当者	計画担当	
取組年度	H29	～	H32						
効果	その他改善								
最終目標	老朽化が進んだ学校施設については、建て替えではなく改修によって対応することで、コストを抑えつつ、安全性を確保し、衛生的な管理や機能の維持を図る。併せて、学習環境の多様化に対応できる設備整備を行うことで、児童生徒の学習環境の向上を目指すとともに、学校運営がしやすく、快適に使えるよう計画的に保全し、維持管理を行う。								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度									
平成29年度	遅れている	モデル校である土小学校の校舎の老朽化対策計画を策定するにあたり、ワークショップを行い、その際出された様々な意見を集約し、その内容を反映した改修工事の基本計画を策定した。また、モデル校の学校施設を検証することで、柏市の全小中学校の老朽化対策実施に繋げた。また、屋内運動場については2校の改修工事と2校の実施設計を行った。実施設計の予定は3件であったが、そのうち1件については流山市の建築審査会の開催が3月中旬であったため、完了は平成30年5月末予定である。							
平成30年度	計画どおり	モデル校の基本計画を基に、校舎の実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事、4校の実施設計を行う。							
平成31年度	実施	モデル校で校舎の改修工事を行い、3校の校舎について実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事及び3校の実施設計を行う。							
平成32年度	完了	モデル校の校舎の改修工事竣工。校舎については3校の改修工事及び3校の実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事及び3校の実施設計を行う。							
成果指標	指標名	長寿命化改良した学校施設件数(工:工事, 設:設計, W:ワークショップ)					単位	件	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値	
	当初計画値	0			工2(設3, W1)	工3(設4)	工4(設6)	工7(設6)	16
	変更計画値					工3(設5)			
実績値			工2(設2, W1)	工3(設5)					
効果額	歳入増加	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	歳出削減	当初計画額							0
		変更計画額							0
		実績額							0
	計	当初計画額			0	0	0	0	0
		変更計画額			0	0	0	0	0
		実績額			0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)				建物を長寿命化することで、整備コストを平準化する。また、予防保全に切り替える足がかりとする。	建物の長寿命化を実施し、整備費用の平準化を行うとともに、予防保全へ切り替えを行う足掛りとする。				

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	81 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理				重要度	A				
番号・取組事業名	81007	学校施設長寿命化改良計画	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31				
担当部署	270400	学校教育課 学校施設課	責任者	山口 秀明	担当者	計画担当				
	区分	取組内容・目標								
平成30年度	計画どおり	モデル校の基本計画を基に、校舎の実施設計を行う。また、屋内運動場については3校の改修工事、4校の実施設計を行う。								
取組項目		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月					
1	屋内運動場長寿命化改良工事		○	○	○					
2	屋内運動場長寿命化改良設計		○	○	○					
3	土小学校長寿命化改良事業実施設計	○	○	○	○					
4	学校施設個別施設計画策定	○	○	○	○					
5										
6										
7										
8										
9										
10										
進捗										
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	屋内運動場長寿命化改良工事3校及び設計3校については、計画通り実施中である。昨年度から継続していた光ヶ丘小学校の屋内運動場長寿命化改良工事の設計については完了した。土小学校の長寿命化改良事業実施設計については委託業者と契約し、基本設計の取りまとめを行っている。学校施設個別施設計画についても、委託業者と契約し、各学校の現地調査及び実施順位を決める前提となる人口推計や教室利用状況等の分析を行っている。						
進捗・実績										
年度末	成果指標名	長寿命化改良した学校施設件数(工:工事, 設:設計, W:ワークショップ)		計画値	単位	件	実績値	単位	件	
					工3(設5)			工3(設5)		
	達成状況【成果】	達成	コメント	屋内運動場長寿命化の工事は3件、設計は昨年度から継続で行っている光ヶ丘小学校を含め4件完了した。土小学校校舎長寿命化改修工事設計については、今後の教育を見据えた教室の設え、長寿命化仕様の検討を行い、基本設計・実施設計へ反映させた。						
	進捗状況【活動】	計画どおり		学校施設個別施設計画については、各校の現地調査を行い、劣化状況を把握し、それを踏まえて、今後40年間の整備費用及びスケジュールを作成し、計画的に施設整備を行う上での方針を決定した。						
計画変更(次年度以後)	取組内容	有	コメント	校舎長寿命化については、柏北部東地区新設小学校建設及び田中小学校建替工事等の対応をするため、平成33年度からの設計に変更する。						
	計画値	有								
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする							
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	学校施設個別施設計画に基づき、計画的に長寿命化工事に取り組まれない。また、長寿命化工事にあたっては、利用者である学校現場の意見、要望等を汲み取りながら進められない。						
	方向性	継続実施								